

7 MG パール（環境）

学生チーフ総括

2018年度のMGパールの目標は販売機会を増やしていくことであったが、達成することができなかった。しかし、例年の活動ではあるが、戸塚まつりに出店をした際、たくさんブースが出店されている中、多くの方がMGパールにも足を運んでくださり感動した。普段は横浜の生協で販売しているが、見てくれる人の顔を見ることはできないため、とてもいい刺激になったと感じている。また、普段の活動では短い時間しかメンバーと顔を合わせず、キャンパスが違えばまったく会わない人もいる中、皆と一緒に活動できる貴重な時間だった。私たちが行っているボランティア活動はアクセサリーを作ることだけではないのだということを再認識できた時間であった。お客さんとのコミュニケーションで、ボランティアの内容や効果を説明して広めていくことも私たちの役目であるということに気づけた。来年度は2018年度MGパールを支えてくれた先輩方が就職活動で忙しくなるので、私たちが今まで先輩方がサポートしてくれたことを全力で後輩にしていきたいと思う。そして、私がチーフをやっていて失敗したことや良かったことを次期チーフに伝えて支えたいと考えている。1年間チーフをやらせていただいて、たくさんの方にご迷惑をおかけしてしまったが、緊張したり、嬉しかったり、大変だったり、たくさんの方の経験をすることができたことに感謝したい。

（学生メンバー 社会学部社会福祉学科）

●2018年度「MGパール」の主な活動

日にち	内容（参加人数）
4/4（水）	国際ソロプチミスト 東京-弥生「観桜会」に出席・出店（4名）
5/26（土）・5/27（日）	大学祭「戸塚まつり」で出店（5/26：5名、5/27：5名）
6/23（土）	「夏至キャンドルナイト@善了寺」に出店（3名）
8/28（火）	白金地域の造形作家・山下民子氏との制作会（3名）
9/22（土）・9/23（日）	夏合宿（9名）
11/29（木）	認定特定非営利活動法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン（BCTJ）定例会に参加（2名）

※1 Day for Others「オランウータンから学ぼう！ボルネオ島の環境問題」は受入先都合のため中止となった

※毎週1回昼休みに学内で制作活動

◇戸塚まつり

目的	ボルネオ島の天然パールを使用したアクセサリーの広報と販売
場所	横浜キャンパス
活動内容	ボルネオ島の天然パールを使用したアクセサリーの販売
活動日時	2018年5月26日(土) 13:00~18:00、5名
参加人数	5月27日(日) 10:00~16:00、5名

実施概要

普段の活動で制作しているボルネオ島の天然パールを使ったアクセサリーを販売し、売り上げの半分をボルネオ島の環境保全に貢献している認定 NPO 法人ボルネオ保全トラスト・ジャパンに寄付した。販売活動を行うことで地域の方々や学生に MG パールの活動に興味を持ってもらい、活動について知ってもらうきっかけになった。また、学生広報委員からインタビューを受け、その内容の一部が白金通信にも掲載された。それによって、学生や教職員にも MG パールの活動について知ってもらうことができた。

感想・活動を通して得た学び

アクセサリー販売を通じて、地域の方々に MG パールの活動について興味をもって頂けた。また、広報委員の学生を通して学生にも活動について知ってもらえるきっかけになった。さらに、新入生のメンバーが入ってから初めて白金のメンバーと顔を合わせる機会にもなり、MG パール全体としてもコミュニケーションの輪が広がった。ただ、参加者自体が少なく一部の人だけになってしまったことが残念だった。

今後に向けて

MG パールのアクセサリー販売の場にもっと多くの学生などに来てもらえるように、事前にツイッターでの広報を確実に行えるようにしたい。そのうえで、アクセサリー商品のバリエーションを増やし普段の活動で制作できるような計画を立てられるようにしようと考えている。また、早めにシフトの予定を立て、多くの新入生が普段会うことができない白金のメンバーと顔を合わせる機会にしたいと考える。

(学生メンバー 国際学部国際学科)

◇夏合宿

目的	博物館見学などを通して、自然の大切さを知る。学年を超えた知識の共有
場所	神奈川県 足柄下郡湯河原町、小田原市
活動内容	制作体験（皿への絵付け、シーグラスで写真立て装飾）、博物館見学など
活動日時、 参加人数	2018年9月22日（土）11：00～9月23日（日）16：00 9名

実施概要

1日目は湯河原駅に到着した後、陶芸館でお皿への絵付けを体験した。その後、写真立てを装飾する活動のために湯河原海水浴場にて貝やシーグラス拾いをし、拾ったものを使用しながら写真立ての装飾を行った。普段、なかなか触れる機会のない自然に関する体験ができた。また、夜にはボルネオ島やMGパールの活動に関する知識共有のため、勉強会を行った。ボルネオ島の森林破壊の現状や問題に関するクイズをし、MGパールの活動目的が再確認できた。2日目は、自然について学ぶため生命の星・地球博物館を見学した。

感想・活動を通して得た学び

普段MGパールの活動では、ボルネオ島の淡水パールを用いたアクセサリーを制作しているが、合宿では海岸でとれた貝やシーグラスを用い写真立ての装飾をし、自然の物を飾りにするという共通点のある活動を行い、自然をより身近に感じることができた。勉強会でボルネオ島の森林破壊の現状や自然についての知識を合宿に参加したメンバー全員で共有し再確認したり、制作体験や博物館見学などをする中で、2日間を通して学年を問わず関わり合う機会を多く設けることができ、普段キャンパスが別のメンバーや初めて顔を合わせるメンバーとの仲を深めることもできた。

今後に向けて

夏合宿でMGパールの活動の目的を皆で再認識し、メンバー同士の仲も学年を問わずより深めることができた。今後は、今回夏合宿に参加することができなかったメンバーにもボルネオ島の自然の現状や問題に関する知識を共有し、MGパール全体でセクション活動の目的を再認識することで、日々の活動をより積極的に行っていきたい。

(学生メンバー 社会学部社会学科)